



# ひまわり

93号

平成22年8月17日



- ② 福寿園創立30周年特集
- ⑥ 法人創立30周年 特別寄稿
- ⑦ 第19回 法人合同研修会開催
- ⑧ 各施設の出来事
- ⑫ 福寿園ニュース
- ⑬ 家族会だより／職員バトン
- ⑭ 第7回「福祉の手紙」作品募集

写真は法人30周年を記念して、各施設の利用者と職員が「祝！ 30周年おめでとう」の人文字を作り、撮影したものです。



# 福寿園創立30周年記念特集

## キラキラと輝く未来へ

理事長 古田 勝美



創立30周年を迎え、多くの皆様のお力添えをいただき、ここまで成長いたしましたことに、心より感謝申し上げます。

「福寿園」30年の歩みを振り返りますと、その歴史は決して平坦な道のりではありませんでした。しかし私たちは、この道のりを、創始者が唱えた「愛と感謝と奉仕」の精神を支えに、おひとりおひとりの心に寄り添いながら歩み、相手の立場に立った深い思いやりの心で取り組んでまいりました。

「福寿園」が飛躍する契機となったのが、平成12年の法律改正です。法人の自主経営による経営基盤の強化と健全経営、より質の高いサービスの提供に因るために「福寿園」では、創設以来の経営理念に加え、時代のニーズに即応できる5つの経営ビジョンを確立いたしました。また経営方針として、2つのMと呼んでいる、マネジメント（経営）とミッション（社会的使命）を策定し、この両輪で、社会福祉法人としての役割を果たしてまいりました。

平成16年には、さらなる基盤強化と社会のニーズに因るために、5カ年計画に取り組み、平成21年までに85億円を投資、5つの施設を完成させ、県内に14施設を運営する法人に成長いたしました。

こうして30年を迎えた今、次なる課題は、この「福寿園」を次世代につないでいくこと。そのために、新たに3ヶ年経営指針を策定し、次の時代になう人材の育成に力を注いでおります。

「福寿園」はこれからも、「愛と感謝と奉仕」の経営理念のもとに精進し、地域の皆様と力をあわせて福祉事業の推進に努めてまいります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

# 法人創立30周年 記念事業

昭和55年に社会福祉法人の認可をいただき、地域の高齢者福祉の担い手となるべく、今日まで日々、努力してきました。そんな日々の積み重ねで、今年、社会福祉法人福寿園は、創立30周年を迎えることができました。30周年を記念して、主に5つの事業を行いました。その記念事業の中には、お世話になった地域の方々への感謝の気持ちを込めたものもあります。ここにその事業を紹介させていただきます。



## 30周年記念文庫

福寿園の施設がある田原市・豊田市・半田市・東海市・武豊町に所在するすべての中学校(47校)に記念文庫として、福祉に関する書籍を寄贈させていただきました。これは、地域の支えていただいた感謝の気持ちです。次世代を担う子供たちに少しでも福祉の心が伝われば、大変うれしいことです。

## シンボルマーク の制定



「愛と感謝と奉仕」の理念を3つの和(輪)にたとえ、重ね合わせることで、朝日の昇る勢いと太陽のように温かい心のもったサービスを届けるイメージを表現しました。また、3つの和(輪)と中央の上昇気流を表現した曲線で、「福寿園」と「福祉」の頭文字である「ふ」をあらわしています。

※創立30周年にあたり、福寿園に関わる全ての方より「愛と感謝と奉仕」という法人理念を表すシンボルを募集した中から選びました。

## 各施設に五葉松の記念植樹



福寿園全施設に「五葉松」の記念植樹をしました。ISO14001を取得している法人として、緑をはぐくむという意味もありますが、松は長寿を意味し、利用者の方々の健やかな日々を祈念しております。今までの30年を感謝し、これからの30年、100年後も地域の皆さんの力になれるよう、この松と一緒に成長していきたいと思っています。

## 記念講演

「日本のこれから、日本人のこれから」

講師 藤原正彦氏



福寿園創立30周年と福寿園をはぐくむ会「未来」創立10周年を記念して、共催という形で、本部式典当日に藤原正彦氏に「日本のこれから、日本人のこれから」というテーマで特別講演をしていただきました。藤原氏は200万部を超えるベストセラーの「国家の品格」の著者であり、お茶の水女子大学名誉教授。



## 30周年記念誌及びDVDの発行

30年の月日は、順風満帆な時ばかりではありませんでした。「介護技術」を教えてくれる学校も無い時代から、利用者の笑顔づくりのためにできることを行う心のケアを、心がけてきました。初心を忘れることがないようにまたお世話になった関係各位から寄稿などもいただきながら、記念誌を発行いたします。また、次世代を担う若い世代の方々にも、観ていただけるように記念DVDも作成いたします。

# 法人創立30周年記念式典を 開催しました。

**本式典**  
日時・平成22年6月24日(木) AM 10:30  
会場・法人本部

法人創立30周年の年にあたり、去る6月24日に、福寿園発祥の地である田原福寿園にて記念式典を挙行いたしました。当日は素晴らしい天候にも恵まれ、愛知県知事代理、鈴木克幸田原市長、粉山芳輝武豊町長、中村秀一社会保険診療報酬支払基金理事長をはじめとする、多くの方々をお迎えし、記念式典を行いました。また、「国家の品格」の著者としても有名な藤原正彦氏に記念講演をしていただきました。



主催者挨拶をする古田理事長



鈴木克幸田原市長



社会保険診療報酬支払基金 中村秀一理事長



大勢の人が式典に出席していただきました。



感謝状を受け取る田原市立福江中学校「ドリームの会」



入所者と職員による器楽合奏



## 豊田地区式典

日時 ● 平成22年7月4日(日) PM5:00～  
会場 ● 名鉄トヨタホテル「金扇」



松井正衛豊田市議会議長



鈴木公平豊田市長

豊田地区・知多地区でも開催されました。



主催者挨拶をする山田常務理事



職員による合唱



弦楽四重奏

## 知多地区式典

日時 ● 平成22年7月9日(金) PM3:00～  
会場 ● 武豊町民会館「ゆめたろうプラザ」



初山芳輝武豊町長



鈴木淳雄東海市長



梶原純夫半田市長



職員による和太鼓サークル「響」の迫力ある演奏



法人創立  
30周年  
特別寄稿



# 未来につなぐ福祉の心



田原福寿園 施設長 石井好春

コンビニ前や駅前など、ところかまわず地べたに座り込んでだべったり、人前でも平気で化粧をしたり、運転中の携帯電話、ポイ捨てなど若者らの身勝手な行動が目について仕方ない日常であります。成人式の挨拶の中で、「大人としての自覚、社会人としての責任をしっかりと持って行動していきます。」と胸を張って宣誓しますが、一部の若者らの無責任な言動は、しばしば社会問題にもなっています。褒められ続け、いいところだけを伸ばされて育ってきた若者らにとっては、指摘されたり注意されることを極端に嫌い、周りの迷惑や、不快な思いなど知る由もなく自分本位に振る舞ってしまうのかもしれない。

先日の電車内での出来事。ほとんどの若者は黙々と携帯でのメールやゲームを楽しんでいる中、耳の少々遠い老紳士が携帯電話を取りだして、車輦中に聞こえるような大きな声で、

同じ話を繰り返し相手に伝えていました。思いがけない大人の行動に、周囲の若者らも苦笑いするしかなかった。又、命を軽んじるような事件も後を絶ちません。

とかく若者だけが非難されがちな現代ですが、今を生きる全ての人々に共通していえることは、自分の主張を通し、権利意識ばかりを強調する傾向にあるように感じます。豊かで、便利すぎる時代の代償として、失ってしまったもの、忘れ去られたことが多く、今改めて真剣に考え直さなければならぬ時がきていると思います。

「おかげさまで」「お世話になります」といった謙虚な姿勢、相手に対する思いやりの心はいつの時代になっても、誰もが求めていることだと思います。

法人創立30周年を迎える福寿園では、若い世代の内から、忘れかけた人に対する優しい気持ちや思いやり

の心を育んで欲しいとの思いを込めて、田原市、豊田市、半田市、東海市の全中学校へ介護をはじめ福祉関連の図書一式を寄贈いたしました。古き懐かしき日本人の思いやりの心、優しさにあふれた地域社会が取り戻せるように願います。





古賀稔彦氏による特別講演



職員と固い握手



永年勤続で表彰される職員



懇親会風景

## 第19回

# 法人合同研修会開催



夢を語ったパネルディスカッション風景



基調報告をする古田理事長

平成22年7月25日ホテル日航豊橋にて、第19回法人合同研修会を職員320名の参加で開催しました。

冒頭で永年勤続表彰を行い、20年、15年、10年、5年の総勢53名に感謝状と記念品を贈りました。今年で法人創立30周年を迎えたわけですが、この永年勤続で表彰される職員の日々の努力の結果、今日の福寿園があるのだと感じずにはられませんでした。

表彰後、古田理事長から「法人創立30周年と未来に向かって」というテーマで基調報告があり、これまでの30年の歴史とこれからの福寿園のあるべき姿が示されました。

午後は、「平成21年度事故ヒヤリハット報告」と「第5回利用者満足度調査報告」がありました。我々が介護という仕事をするにあたり、とても重要なものです。日々の業務のマンネリ化の打破や利用者の立場に立つという感覚を養うためにも、必要不可欠なものです。今後も毎年、この重要な調査を継続していき、サービス向上に努めていきます。

今回の研修会は30周年記念ということで、柔道金メダリストの古賀稔彦さんに特別講演をしてもらいました。夢に挑戦することの大切さや、当たり前のことをないがしろにしないというような、大切なことを学ばせてもらいました。その他にも谷亮子さんや谷本歩実さんのエピソードなども交え、楽しい講演会となりました。

講演会のあと、30周年記念誌の作成のために「法人30周年と輝く未来へ」と題して、パネルディスカッションを行いました。法人創立の想いから、30年間の出来事などを語っていただきながら、これからの未来の姿を思い描きながら、夢を語ってもらいました。

研修会に引き続き30周年記念祝賀会を行い、30周年にちなんだ催し物で会場をわかせました。ひとつは、法人開設当初から現在に至る歴代の職員制服のファッションショーです。ステージ上ではプロ顔負けのウォーキングとポーズで、当時の制服を着こなした職員が拍手喝采を浴びていました。また、スライドで30周年を振り返る時間を設け、今の福寿園の姿がどのように変化してきたことを職員側からの視点で感じる事ができました。

一言で30年と言えば、たやすいですが、実際は幾多の困難があったはずですが、今回の研修会は、先輩方の足跡を学び、次のステップに踏み出すための重要な研修会でした。



職員による制服の変遷ファッションショー



利用者満足度調査報告

# 各施設の

# 出来事

みなみ福寿園

## 花菖蒲園散策

6月の晴天に恵まれた日に、碧南の花菖蒲園に日帰り旅行に出かけました。

あまりの良い天気に汗ばみながら園内を散策。「もう少し涼しければ



ね」と暑いくらいの快晴を満喫しました。  
帰園後は思い出話に花を咲かせ、お風呂で気持ちよく汗を流しました。

くさの里

## 酔の里博物館を見学



シヨートステイでは、半田にある日本唯一のお酔の博物館「酔の里」へ行ってきました。昔ながらの醸造蔵を利用しており、中には階段がいっぱいあります。そのため、車椅子の方の移動には昇降機を使用しました。

「怖くないよ」と楽しげに乗ってらっしゃる方も：館内には、実際にお酔作りが行われている場所を見学して、江戸時代からの歴史を体感しました。酔のジュースは皆さんに大好評！半田運河で記念写真を撮り、楽しい思い出になりました。

渥美福寿園

## 和食ハイキング

6月23日にハイキングを行いました。今回は「和食ハイキング」で、天ぷらやうどん、蕎麦、茶碗蒸し、煮物など、沢山の和食料理がテーブルに並びました。渥美では久しぶりとなるハイキングで、ご利用者も初めてという方が多く、職員も不安ではありませんが、いざ料理が運ばれると、皆さん真剣にご自分の好きな物を選んでいました。中には、どれを食べようか迷った中にもかかわらず、好きなものを食べられて



いる姿は皆さんとても幸せそうでした。

武豊福寿園

## おいしかった出張回転寿司

6月6日(日)A・Bグループの家族会が開催されました。目玉は出張回転寿司！目の前で職人さんが握ってくれたお寿司。家族のひとと談



握り寿司を食べながら職員による「笑点」を観賞。笑って、食べて、おしゃべりをして、楽しい一日となりました。また、来年も楽しみにしててください。



東海福寿園

楽しかったいもほり

6月のはじめ、3月に植えたじゃがいもを収穫しました。陽がカンカンと照る中でしたが、土の中から出てくる大きなじゃがいも



にあちろこちろで「あった！あった！！」と喜びの声。

託児っ子もおすそわけをいただき、採れたてのじゃがいもを電子レンジでポテトチップスにして食べました。今は便利なものがあるもので、とても美味しくて子供たちは次のできあがりを待ちきれない様子。

ご利用者はホクホクのふかし芋で初夏の味を楽しまれました。

ケアハウス武豊

エステとランチ

5月17日に半田市までエステとランチに出かけました。出発からどんなエステだろうねとドキドキ、ワクワク。顔をエステしてもらい、化粧までしていただきました。みな



さんとても綺麗になり、大喜び。これで1000円という金額にビックリ！大満足。

ランチは、「花まんま」というお店でいただきました。エビフライや茶わん蒸しもついて、食べきれないほどのポリウムでもおいしかったです。みなさんに生きがいや女

性らしさを保持していただくことも親睦を深めることができました。

ケアハウスきぬくら

鯉のぼりづくり

ケアハウスきぬくらには、手先が器用で、素敵な作品を作ってくださいの方がたくさんいます。今回は、端午の節句に向けて、真鯉を「貼り絵」で作りました。糊でベタベタになりながら、丁寧に



作っていききました。完成後は、「もっと広した方がいいかな?」「吹き流しも欲しいね」と話がひろがり、その後、吹き流しも作り、当日は豪華な鯉のぼりが泳ぎました。

ひまわりの街

「陸・海・空」だよ！全員集合!?(笑)

ひまわりの街に一羽のキジ鳩が迷い込んできました。まだ子供で上手に飛べずに親からはぐれてしまったようです。職員を中心に介抱し1週間ほどで無事に親の元へ帰っていききました。今でも、家族と寄り添っている元気な姿を私達に見せに来てくれます。

に決まりました。入居者や職員、託児所の子ども達から、「サン!」「サン!」と早くも人気者です。去年から飼っているビーシュリンプ(えび)も子どもが生まれ、ひまわりの街もにぎやかになってきました。ご来園の際は、ぜひかわいがってあげてください。

また、6月18日、ひまわりの街

に新しい仲間がやってきました。

ふわふわの毛並みのかわいい子犬です。名前は、職員か



### あじさい風呂

6月から7月にかけて、梅雨でジメジメしたこの時期に、湿った気持ちや少しでも晴れたものによいと、鮮やかなあじさいの花を浮かべたお風呂に入っていたかったです。入浴サービスを



ているご利用者の中には、外出しなくてもなかなか難しい方が多くいらっしゃいます。

そのため、少しでもご利用者に季節感を感じてもらえるようにと、ゆず湯・しょうぶ湯はもちろんのこと、さくらや菜の花、あじさいの花など四季折々の花を取り入れて、季節感を演出しています。

今後、見てさわって、においを嗅いで、ご利用者が五感を使って入浴を楽しんでいただけるようにしていきたいと思えます。

### レクリエーション大会

6月8日に特養・シヨート・デイサービス合同で、レクリエーション大会を行いました。



玉送り、玉入れ、玉入れな

どの競技を行いました。パン食い競争では、職員も参加し、両足を手ぬぐいで縛り、飛んでパンを取りに行きました。いつもとは違う一面を見て、ご利用者さんたちも楽しまれました。競技に参加されていた方は真剣な表情でした。参加されていない方も一生懸命応援してください、皆さん楽しんでいました。

体を動かし、大きな声を出して、よい気分転換になったと思います。

### 熱いサッカー観戦

サッカーワールドカップ「日本対オランダ」戦の試合に合わせてスポーツ・バーを行いました。片手に国旗やメガホンを持ち、もう片方にはビールや枝豆を手に応援。「頑張り日本！」と、応援のコールも繰り返され万全の態勢で臨みます。時には「頑張り正子」と、自分の名前に変わってしまう方もいましたが、とても熱の入った応援であり、周りの方の手拍子



も息が合っていました。「どちらが勝つかね？」と、聞くと「日本が勝つ」と断言され絶対に負けられないと思えてきました。普段、共に食事をとる事がない他棟の方々と同い町の出たり、思わぬところで同じ町出身だったと懐かしく声を掛け合う方もいました。サッカー好きの方はゴールが決まるまで席を立てないほどの盛り上がりでした。また楽しみたいですね。

### 「えんがわ」始めました

5月10日(月)より施設内の喫茶コーナーの一角に「えんがわ」を始めました。

「えんがわ」でひなたぼっこするような気分で、気軽に立ち寄ってもらいたい、そんな想いでオープンした憩いの場です。コーヒーを飲みながら高齢者の方の不安や悩みの相談の場というだけでなく、介護者の方もちょっと一息、介護者同士の交流の場として利用していただいています。



今後、地域の方のつながりもてるような交流の場として、また区長さん、民生委員さん等の地域ネットワーク作りの場としても活用していきたいと思えます。

昭和の里のミニパンは、みなさんに「おいしい」と、とっても好評です。

養護盲福寿園

芸能大会出演

5月23日、田原市芸能大会に養護入所者と職員27名で出演しました。日頃の器楽・大正琴クラブでの練習の成果を発揮し、全6曲を演奏しました。最後の「しあわせなら手をたたこう」の曲では、会



場のみなさんにも参加してもらい、楽しんでいただくことができました。無事に発表を終え、メンバーからも喜びの声が聞かれ、「次の発表にむけてがんばろう!」と、また次回への出演を目指して練習に励んでいきたいと思えます。

ケアハウスパンフィッシュ

楽しかったお手玉作り

皆さん思い思いの布を持ち寄りお手玉作りをしました。「この布かわいい」「こっちは色はいいね」等楽しそうな声が聞こえ、お手玉作りがスタート。1時間半かけて様々な形のお手玉が出来上がりしました。最後は作ったお手玉を手に



みんな写真撮り、「楽しかった」「帰ってもっと作るよ」と笑顔が見られました。

ケアハウスきぬつり

うなぎを食べにきました

6月15日(火)から3日間かけ、半田市の板山にあるうなぎ屋さん「たま川」へ食べに行きました。うなぎが苦手な人は刺身定食やエビフライなどを食べてきました。人気の店であるため、沢山のお客さんが行列を作る中、お店の協力もあり予約席にて食べることができました。とても、



美味しいウナギを食べてきました。たま川さんに感謝、感謝の3日間でした。

くすのきの里

ケーキバイキング

6月15日から18日の4日間、くすのきの里ではケーキバイキングを行いました。種類も豊富にイチゴショートケーキをはじめ、抹茶ムース、厨房さん手作りバナナケーキ等々その数全



9種類!そのからお好きなケーキ3種類と飲み物を選んで頂きました。「どれにしよう」「迷うわー!」なかなか決められない方もちらほら。皆さんテーブルの回りをぐるぐると回りながらとても楽しそうにケーキを選んでいました。

豊田ティサービスのみ

可愛い招き寅完成

去年制作「福寿ダルマ」に続いて、今年も何か縁起物をみんなで作りたいと、招き猫ならぬ「招き寅」を作りました。3つのグループに分かれ、体格や表情、尾の形などそれぞれ



遊びに来てください。のグループが細部にまでこだわり、丁寧に作り上げました。皆で作った甲斐もあり、一つひとつ味のある最高の出来栄に「やっぱりうちの子が一番かわいいわあ」と玄関で迎えてくれる寅達に、皆さんニッコリ。かわいい招き寅を見にぜひ遊びに来てください。

みなみ福寿園

たこ焼きパーティー

デイサービスから何やら楽しそうな笑い声が。おやつ時間にジュージュウと香ばしい香りを漂わせ、たこ焼きパーティーの開始です。



まんまるに焼けたのも、少し形が微妙なものも、大きなお口でパクリ。熱々のたこ焼きをみんな美味しくいただきました。

## ホームヘルプサービス

### 福寿園ヘルパーステッカーを貼った車があなたの街を走ります

本誌91号で紹介しました、体温計、手首式血圧計、爪切り、応急セットなど、ご利用者さんに喜ばれる為の「福寿園ヘルパー七つ道具」を抱え、ヘルパーは今日も元気に家々を巡ります。その際、公用車や登録ヘルパーの自家用車に貼るのが写真の大きなマグネツト式ステッカーです。ヘルパー活動中の職員の意欲向上にも繋がっています。



## 福利厚生で東京ディズニーリゾートに行きました

今年から、法人の福利厚生で、各地のリゾートホテルや東京ディズニーリゾートパートナーホテルの利用ができることになりました。

早速、家族を連れて、6月8日、9日の2日間パーク&ファウンテンテラスホテルに宿泊させていただきました。2日間とも午前中は、あいにくの空模様でしたが、家族3人ディズニーリゾートを満喫し、いいお父さんをする事ができました。夢の国へ出掛け、と



ひまわりの街 田口明弘

## ホームヘルパー2級養成講座の第3期開講

ひまわりの街

6月12日(土)に、ひまわりの街にて、ホームヘルパー2級養成講座の第3期が開講しました。

15人の受講生が集まり、皆さんとても真剣に受講されています。全23回、合計130時間の講義・演習・実習と決して楽ではないですが、全員が無事に修了できるように頑張っています。



金沢孝一郎さん(くすのきの里)、久田有紀さん(東海福寿園)が5月30日アルモニーヴィラ・オージュアルダンにて挙式を行いました。金沢さんの大きな愛に包まれて…いつまでもお幸せに♡

6月5日(土)、知多市の海陽館にて武豊福寿園の伊藤有規さん、久村明日香さん(3月末退職)の結婚式が行われました。おめでとうございます。これから2人の新生活が始まります。楽しくて温かい家庭を築いてください。



加藤恭一さん(昭和の里)と三浦紗希さん(ひまわりの街)がゴールインしました。

5月15日に結婚式を行い、緊張しつつも幸せそうな姿を見せてくれました。2人の未来に幸あれ!

# 家族会だより



## 渥美福寿園家族会

去る、5月28日渥美福寿園家族会の総会を開催いたしました。前年度の活動報告、会計報告に続いて、今年度の活動計画、予算報告



をし、提出した議題に関して全てご承認いただきました。

総会終了後は、居酒屋の行事へもご参加いただき、入所者のみなさんと一緒に楽しいひと時を過ごしていただきました。



## 豊田福寿園家族会



絶対晴れると意気込み、バーベキュー大会当日を迎えましたが、天気は予報通りの雨となり、前日から用意した、てるてるぼうずも心なしか落ち込んだ表情を浮かべている様に見えました。そんな中、参加者95名と例年以上の参加者で会場は賑わい、焼きたての肉や鮎、やきそばが並びとあつという間に姿を消していきました。「次はあれが食べたい」、「あなたも一緒にどうぞ」と次々に出てくる、おいしく焼けた品々を味わい、雨の事などすっかり忘れて家族のみなさんと一緒に楽しみました。



なぜ、福寿園の職員になったのですか？

中学生の頃、職場体験でお世話になり、いつかみなさんと一緒に働きたいと思ったからです。

福寿園のイメージを何かに例えると？

温かい大家族

今の仕事の中で失敗談(美談でも可)があれば、教えてください。

味ごはんの時に水加減を聞き間違えて、半分くらいコゲて食べられなかったことがあります。失敗する事もありますが、先輩方に助けられ、そこからたくさん事を学び、成長していこうと心がけています。

何か自慢できるものはありますか？

背の高い事と笑顔

自分自身を動物にたとえると…？

大きくておっとりしているのでパンダです。自分自身ではどんな性格だと思いますか？

明るく、人見知りしないです。

最後に自由に言。

これからも一生懸命、美味しい食事作りをがんばります。食を通して入居者の方々に笑顔にしていきたいです。



氏名 ● 河合里奈  
配属 ● ケアハウスパシフィック  
入社日 ● 平成21年4月1日  
年齢 ● 23歳  
出身校 ● 浜松大学



第6回最優秀作品

# 第7回 福祉の 絵手紙

伝えたい、  
思いやりの  
気持ち

## 作品 募集

■ テーマ 福祉(イメージ)に関するものなら何でも結構です。

■ 応募期間 平成22年9月20日(日) 当日消印有効

■ 応募資格 福祉の心を伝えたいと思っている方ならどなたでも結構です。  
(中学生以下は除きます)

■ 応募方法 応募点数は1人1点まで。所定の応募用紙(各施設に置いてあります)または普通はがきサイズの用紙に作品を描いて下さい。  
裏面に「氏名・年齢・住所・連絡先・タイトル・メッセージ」等をご記入のうえ、下記宛先までお送りいただくか、お近くの福寿園の施設までお持ち下さい。

■ 表彰・発表 最優秀作品賞 1点(賞金3万円)  
優秀作品賞 4点(賞金1万円)  
平成22年11月に福寿園のホームページと機関紙ひまわりにて発表。その後も優秀作品は施設内での展示やHP、機関紙にてご紹介いたします。

■ 作品送付先 〒441-3413 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3  
福寿園 第7回「福祉の絵手紙」係まで

■ 注意事項

- 作品は未発表のものに限ります。
- 応募作品はお返しいたしません。
- 作品の画材は何でも結構です。(パソコンは不可)
- 裏面に必要事項の記入がない場合は、無効となる場合があります。
- 著作権は主催者に帰属します。
- 個人情報とは本作品展の運営に必要な範囲内で利用いたします。  
応募者の同意なく利用目的を超えて利用することはありません。



第6回優秀作品



第6回優秀作品

主催/社会福祉法人 福寿園 tel.0531-27-0008 ホームページ <http://www.fukujuen.or.jp>



平成22年8月17日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008

■理事長/古田勝美

<http://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。